UX ″F SPORT PARTS（MODELLISTA)″

フードモール　　取付要領書

設定型式:MZA#1#-AWXBB/KMA10 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**フードモール**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
重要 ■両面テープは、外気温が**１５℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、接着力を充分に発揮できない場合があります。
ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
重要 ■**両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N（5kgf/㎠ 以上）**

取り付け完了後の点検・注意事項

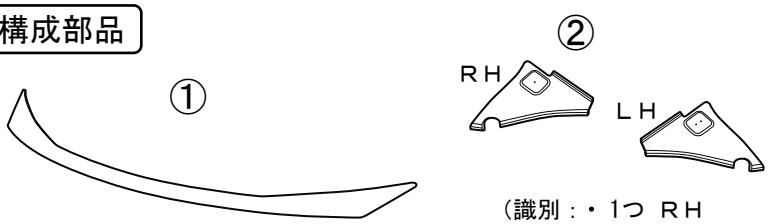
■**フードモール**が、車両に確実に固定されているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着**されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**フードモール**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低３時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
（両面テープの剥がれ、車両と**フードモール**との間に隙間が発生する恐れがあります。）

アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

UX ″F SPORT PARTS（MODELLISTA）″

フードモール　（品番：D2535-58910）
（品番：MSD47-76001）

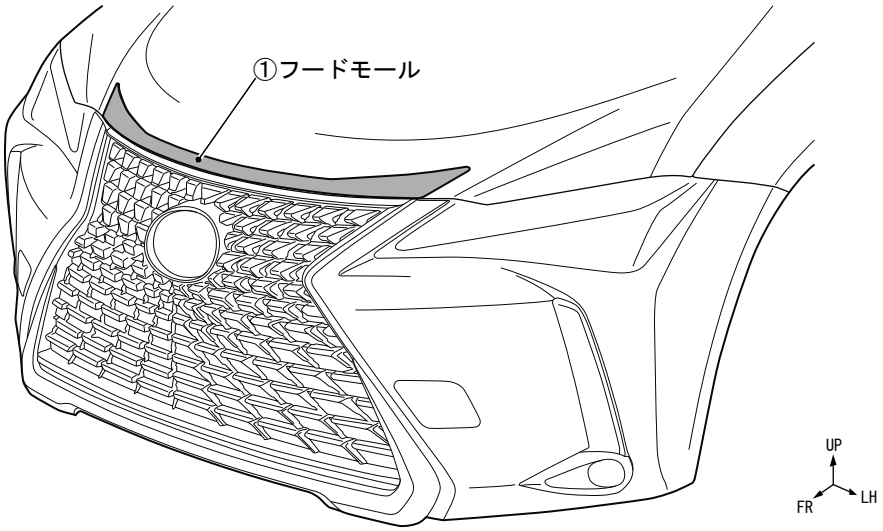
構成部品



（識別：・1つ RH
・・2つ LH）

No.	品　　名	個数
①	フードモール	1
②	位置決め治具	左右各1

取付概要

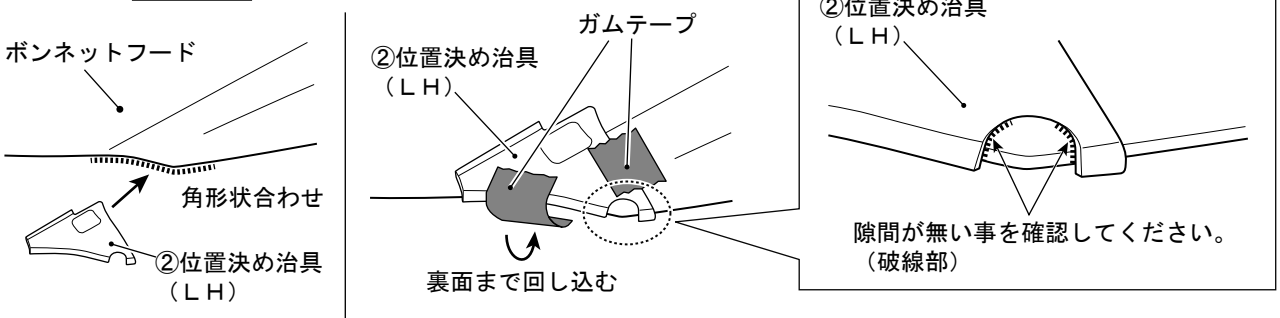


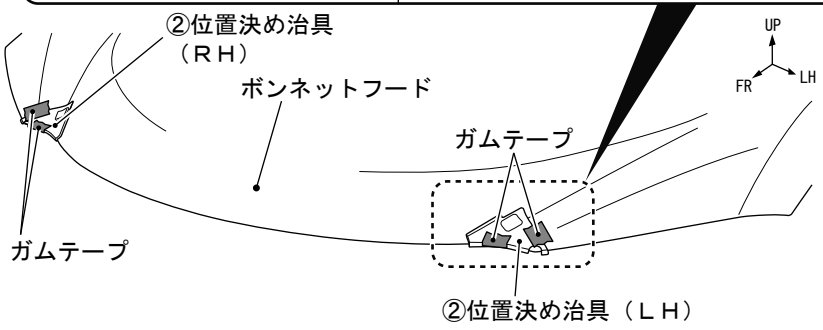
取　付　手　順

(1)仮合わせと貼り付け部の脱脂

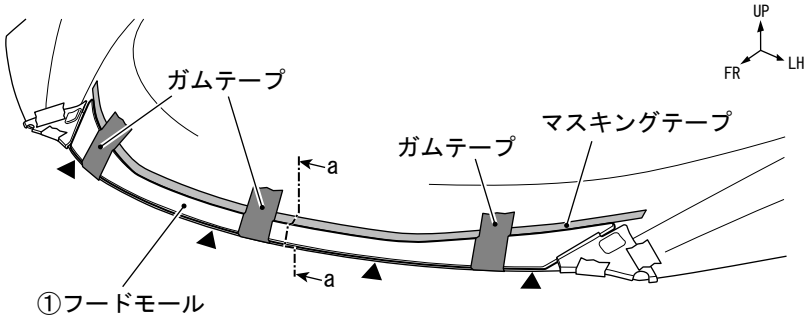
1. ボンネットフードを開け（半開き）②位置決め治具を車両ボンネットフードの角の位置（**拡大図参照**）に合わせボンネットフード端末の形状にガタの無い様にガムテープ等で取り付ける。

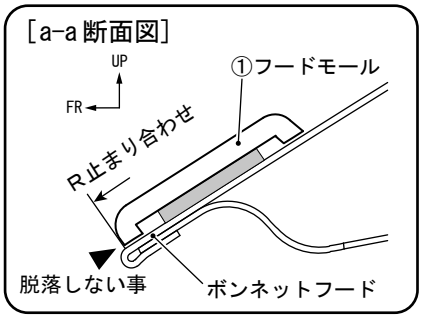
〔拡大図〕 LH図示 ※RHも同様に





※②位置決め治具をガタのあるまま取り付けた場合、①フードモールが車両ボンネットの左右の中心にならず、ズレてしまう要因になりますので注意して下さい。



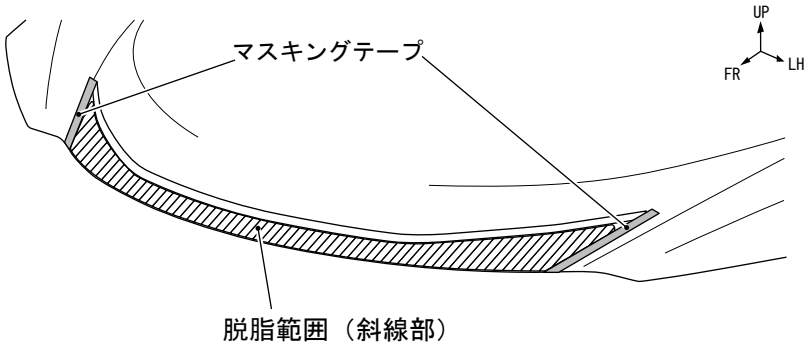


2. ①フードモールの左右を②位置決め治具に合わせ、前方端末（**▲部**）をボンネットフードのR止まりに合わせてガムテープ等で仮固定し、後方端末にマスキングテープを貼り付ける。
（**左図参照**）

アドバイス

仮合わせ手順
①フードモールを②位置決め治具の左右どちらかに合わせ、中央→反対側へと仮固定して下さい。前方端末がボンネットフードのR止まりから脱落しない様、注意して下さい。

3. ②位置決め治具を取り外し、①フードモールの左右端末にマスキングテープを貼り付ける。（**左図参照**）

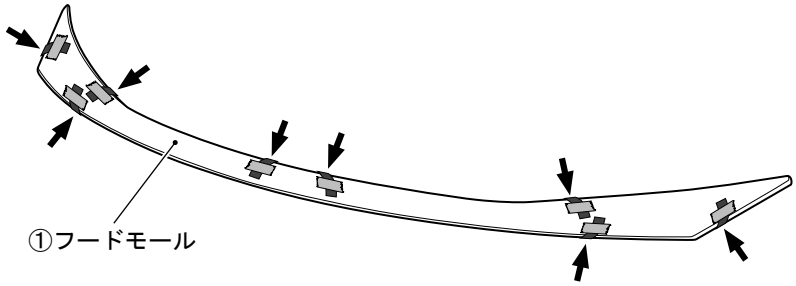


4. ①フードモールを一旦取り外し、ボンネットフード端末からマスキングテープの内側（**左図斜線部**）を脱脂する。

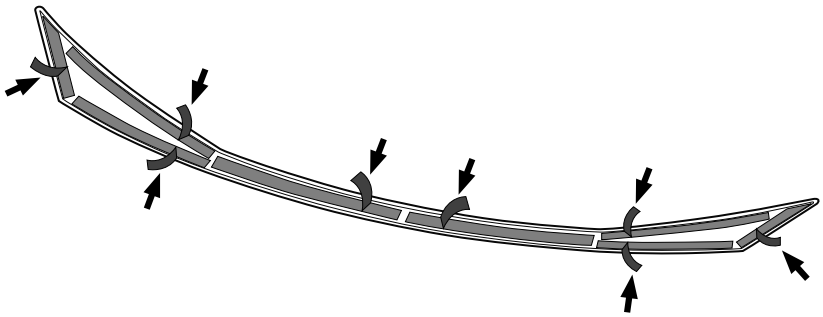
アドバイス

ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(2) 取付準備

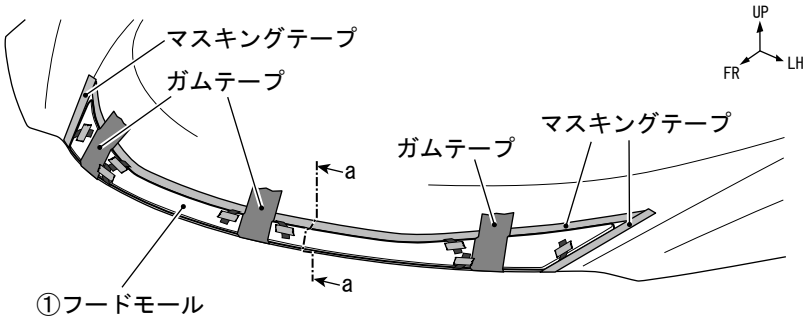


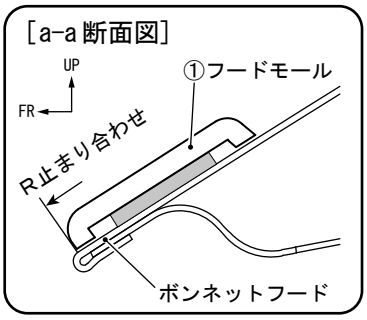
裏面視



1. ①フードモールの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

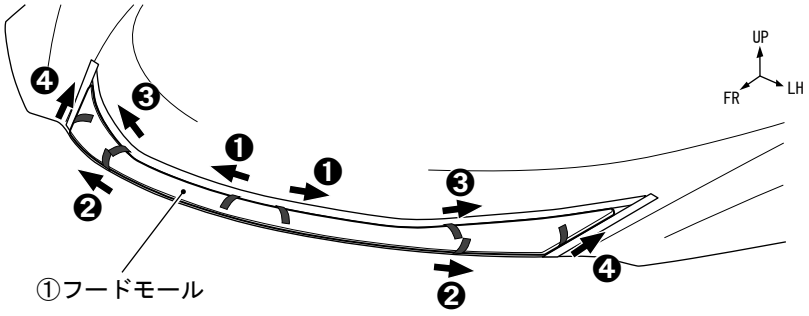
(3)取り付け





1. ①フードモールの左右と後方の端末をマスキングテープに合わせ、前側をボンネットフードのR止まりに合わせてガムテープ等で仮固定する。
②位置決め治具を P2の(1)の要領でボンネットフードに仮当てし、①フードモールの位置が正しい事を確認出来たら②位置決め治具を取り外す。

※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）

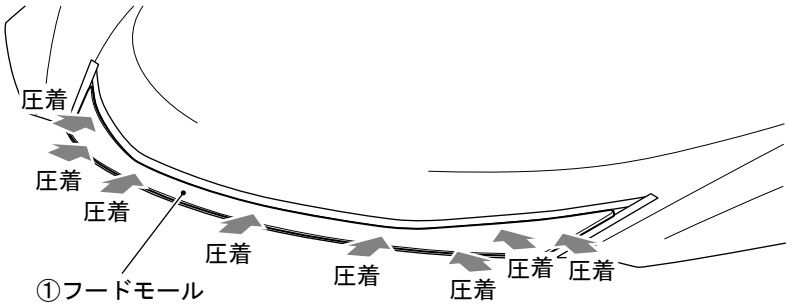


2. 両面テープ離型紙を左右交互に❶から順に矢印方向に引き抜き圧着する。
（左図参照）

※離型紙を引き抜く際に、取り付け位置が、変わらない様に注意して下さい。
❷の離型紙を引き抜く際には、ボンネットフードのR止まりから脱落しない様に注意して下さい。

アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下しますので、気を付けて作業して下さい。
- 両面テープの圧着は49N(5kgf/cm²)程度の力で行なって下さい。



3. ボンネットフードを閉めて全体を圧着する。

4. マスキングテープを剥がす。

5. 両面テープ貼り付け後、３時間以上放置し、再圧着する。

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
【お問い合わせ先】
モデリスタコールセンター TEL:050-3161-1000

脱脂作業要領書

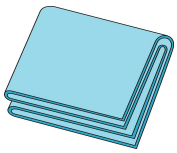
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

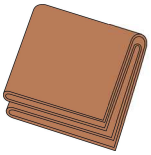
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

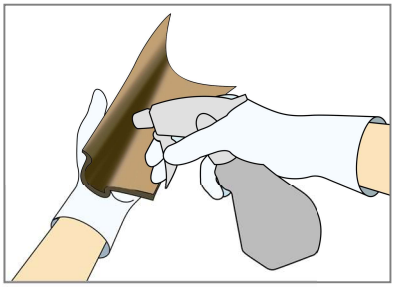

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

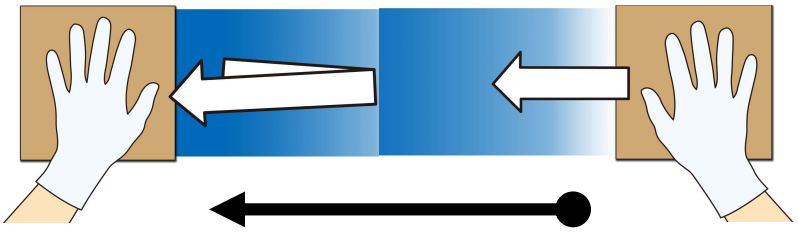


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

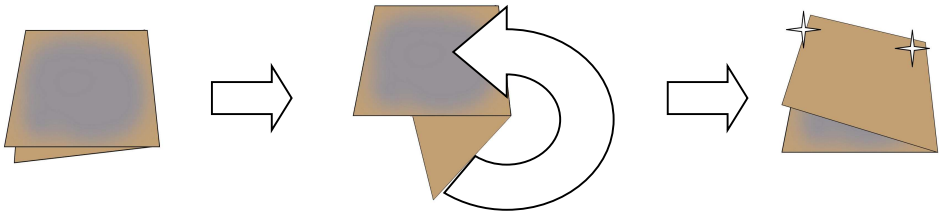
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。